

BUSINESS REVIEW 2008

中間ビジネスレビュー 2008
2007年9月1日～2008年2月29日

GROUP HIGHLIGHTS 2008

- ▶ 2008年8月期中間、連結売上高 3,164億円 (前年同期比+11.3%)、経常利益 534億円 (同+25.4%)
- ▶ **国内ユニクロ**：大型店を順調に出店。半期で10店舗をオープン
- ▶ **国内ユニクロ**：ヒートテックインナー大ブレイク。1シーズンで2,000万枚を販売
- ▶ **海外ユニクロ**：2007年11月、ロンドンにグローバル旗艦店をオープン。12月にはパリ郊外にフランス第1号店を出店
- ▶ **海外ユニクロ**：NYのグローバル旗艦店が黒字化
- ▶ **グローバルブランド**：コントワー・デ・コトニエは、スペイン、イタリアを中心にヨーロッパで拡大
- ▶ **国内関連**：キャビンの改革進む。主力ブランドに経営資源を集中
- ▶ **国内関連**：ジーユー、ワンゾーン、ビューカンパニーは経営統合に向けた検討開始
- ▶ **中間配当金**：1株につき65円を実施



311オックスフォードストリート店▲

ユニクロの商品は世界でも十分に戦える品質を持っています。ユニクロの商品の良さが世界で広く知られるようになれば、グローバル市場でシェアを大きく伸ばすことは難しくありません。英国のグローバル旗艦店はカジュアルウェアの本場であるロンドンのお客様に、ユニクロの本当の良さを理解していただく情報発信地になると信じています。

(株)ユニクロ取締役兼常務執行役員COO 大竹直樹

UNIQLO UK



01 トップメッセージ

日本の代表からアジアナンバーワンへ、 そして世界一への挑戦は続きます

世界のトップ企業がその国を代表する企業になるように、ユニクロやファーストリテイリングを、日本やアジアを代表する企業にしていきます。そのためには、社員ひとりひとりが高い目標を持ち、挑戦し続ける企業であり続けること。そして、本当に良い服、今までにない新しい価値を持った服をあらゆる人に提供していきます。



代表取締役会長兼社長 柳井 正

好調な国内ユニクロ事業

当中間期における国内ユニクロ事業では、10月以降は商売が順調に推移し、大幅な増収増益を達成することができました。過去最高の2,000万枚の販売となったヒートテックインナーの大ブレイクや、ジーンズのヒットに加え、カシミアセーター、プレミアムダウンなどのキャンペーン商品が順調に売り上げを伸ばしました。

このような国内ユニクロ事業の好調に加え、海外ユニクロ事業の黒字化、コントワー・デ・コトニエ、プリンセス タム・タムなどグローバルブランド事業の拡大もあり、当中間期の連結売上高は3,164億円(前年同期比11.3%増)、経常利益は534億円(同25.4%増)と2年ぶりの増収増益となりました。

海外ユニクロ事業は新しいステージへ

ニューヨークのグローバル旗艦店は黒字基調に転じ、世界に向けた旗艦店の役割を立派に果たしています。中国・香港、韓国におけるユニクロ事業も軌道にのり、本格的なチェーン展開に向けて出店ペースを加速し始めました。

海外展開を進めていくなかで私がいちばん驚いたのは、ユニクロ

の品質が世界中のお客様から高く評価されたことです。品質にこだわり続けたカシミアやメリノウールセーター、プリントTシャツ、ジーンズなどは、日本だけでなく世界各国でも素直に評価していただけました。そして、「品質の良さ」こそがユニクロ最大の強みだと確信しました。

今、海外ユニクロ事業は新しいステージに立っています。今後は中国・香港、韓国市場での出店を加速することにより、日本の代表ブランドから、圧倒的なアジアナンバーワン、そして世界一をめざしていきます。

国内関連事業は業績回復へ向けて改革中

国内関連事業のキャビンは、主要ブランドに経営資源を集中したことで着実に成果をあげ始めています。ジーユー、ワンズオン、ビューカンパニーの3社は経営体制を刷新して、経営統合に向けた検討を開始しました。

世界で戦える企業となるために、ファーストリテイリングは明確な長期戦略を持ち、売上規模、収益性、お客様の満足度、人材の豊かさ、社会貢献においても、日本、アジアを代表する企業へと挑戦を続けます。

02 国内ユニクロビジネス

INNOVATIVE MATERIALS

ユニクロは素材にこだわった商品開発 を続けています

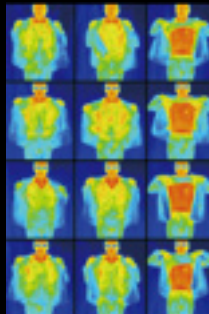
UNI
CLO

ユニクロは企画から生産、販売までを一貫して行うSPA(アパレル製造小売企業)です。素材やディテールにこだわり、妥協することなく商品を作り続けています。素材メーカーとがっちり組んで、機能素材を開発。素材の強みを生かした、ユニクロでしか買えない商品を次々と誕生させています。

HEAT TECH INNER

暖かさの秘密

人間の体から発散される水蒸気が繊維に吸着すると、水蒸気が持つ運動エネルギーが発生します。このエネルギーを応用した保温性にすぐれた素材がヒートテックです。東レ株式会社との協働により、高い保温性・ストレッチ性・保湿度を備えたヒートテックインナーを発売。2007年秋冬には生産が追いつかないほどの人気となりました。



SKINNY JEANS

女性を美しく見せるシルエット

2006年秋冬シーズンに大ヒットとなったスキニージーンズは、いまやユニクロの定番商品です。2008年春には、ウエストラインをすっきり見せる「ハイライズストレートスキニージーンズ」を発売。すらりと伸びた美しいレッグラインを実現する新美脚パンツです。

PREMIUM COTTON T-SHIRTS

世界で数%の贅沢

世界でもほんのわずかしか採れない希少なスーパーマコットン®を贅沢に100%使用した「プレミアムコットンTシャツ」。スーパーマコットン®はシルクのような光沢感と、ソフトでしなやかな風合いが魅力の、米国产最高級の品質を誇るコットンです。



03 海外ユニクロ特集

UNIQLO WORLD



ユニクロが世界市場への挑戦を始めたのは2001年9月。これまでの経験を生かすことによって各国での成功の兆しが見えてきました。ユニクロが誇る高品質の素材や、こだわり続けた縫製・染色・加工の技術から生まれた商品は、世界中のお客様からも高く評価されています。ニューヨークに続き、ロンドンにもグローバル旗艦店をオープン。さらにアジア、特に中国・香港と韓国での出店を本格化し、アジア市場におけるシェア拡大をめざしています。

LONDON

グローバル旗艦店 OPEN

2007年11月、世界一のショッピングエリアと言われるロンドンのオックスフォードストリートに欧州初のグローバル旗艦店をオープン。世界の競合他社ブランドがひしめく激戦区への進出を果たしました。

311オックスフォードストリート店 ▶



PARIS

フランスに初進出

2007年12月、パリ近郊のラ・デファンス地区にユニクロ1号店をオープンしました。「日本からきたシンプル・高品質のカジュアルウェア」はお客様から熱烈な支持を獲得。パリ・グローバル旗艦店のオープンが期待されています。

ラ・デファンス店 ▶



NEW YORK

グローバル旗艦店 その後

2006年11月にオープンしたグローバル旗艦店、ソーホー ニューヨーク店は、当中間期には黒字を達成。カシミアセーターの豊富なカラー展開が人気です。この出店によって、ユニクロブランドのポジショニングを確かなものとなりました。

◀ ソーホー ニューヨーク店



CHINA/HONG KONG

本格出店のステージへ

上海に続き、北京、無錫など中国の大都市での出店を本格的に開始しました。近い将来、爆発的な需要拡大が見込まれる中国市場をにらみ、早期の100店舗体制の実現をめざします。

むしゃく
◀ 無錫店










04 グループ紹介

グローバルカンパニーとして戦うために、 売上高1兆円のグループ規模をめざしています

ファーストリテイリングがめざすのは、世界に通用するアパレル製造小売グループです。そのためには「売上高1兆円、経常利益1,500億円」の事業規模が必要だと考えています。これからも、グローバル展開が可能な欧米ブランドや、海外ユニクロのプラットフォームとなる企業などを対象にM&Aをすすめ、ダイナミックで革新的な企業グループであり続けることをめざします。

FAST RETAILING 連結売上高 3,164億円 (2008年8月期中間実績)

| 国内 ユニクロ事業 | 海外 ユニクロ事業 | 国内 関連事業 | グローバル ブランド事業 |
|---|--|---|---|
|  ユニクロ |  英国 中国・香港 韓国 米国 フランス |  キャビン  ジューユー  ワンゾーン  ビューカンパニー |  コントワー・ デ・コトニエ PRINCESSE tam・tam プリンセス タム・タム LTH リンセオリーHD |
| 2,532億円 | 158億円 | 227億円 | 240億円 |

※ 売上高には持分法適用関連会社(リンク・セオリー・ホールディングス、ビューカンパニーなど)は含まれておりません。

なお、ビューカンパニーは2008年8月期下期より連結を開始いたします。

※ 連結売上高には上記のほか、不動産賃貸業による売上高4億円が含まれております。



CABIN

日本における婦人服SPA(アパレル製造小売業)の先駆けとして1971年に誕生したキャビン。エレガントな大人のデイリースタイルを提案するZAZIE、働く女性のためのReal Riche、フレンチテイストのenraciné、若い女性向けのê.a.pなどのブランドを全国195店舗で展開し、幅広い層のお客様から支持されています。

05 CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任)

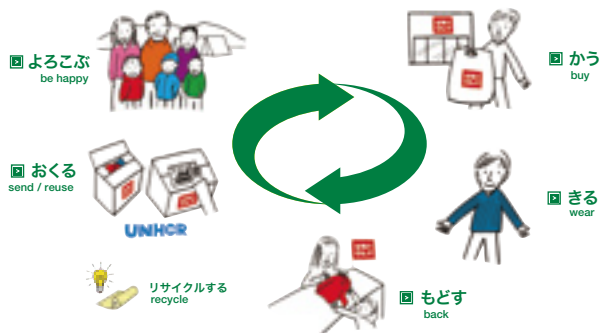
あなたにとって不要な1枚が、 誰かにとって必要な1枚になります

全国約750店舗で衣料を販売しているユニクロは、不要になったお客様の商品を再利用することも自分たちの責務だと考えます。そこで2006年9月より毎年3月と9月に日本国内の店舗で、ユニクロの全商品を対象としたリサイクル活動を開始。皆様の温かいご協力により、毎回たくさんのユニクロ商品が店舗へ寄せられています。お手元にあったユニクロ商品はリユース、リサイクルを通じて、新たな使命とともに旅立ちます。

お客様からお預かりした衣料のうち約90%は、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）を通じ、救援衣料としてタイ、ネパール、ウガンダ、タンザニアなどの難民キャンプへ寄贈しています。お客様からご提供いただいた衣料が着実に目的地に届いているかどうか確認するため、ユニクロの社員やCSR担当役員が実際に現地まで赴き、現地の人たちに直接手渡しています。

全商品リサイクル活動の様子は、こちらのウェブサイトをご覧ください。

<http://www.uniqlo.com/jp/csr>



難民キャンプ(ネパール)の寄贈レポート

難民の方たちと直接お話をして改めて気づかされたのは、服には衛生面や防寒といった本来の機能に加え、心の安らぎや喜び、そして自己表現の手段といった大きな役割があるということです。厳しい生活環境の中で、難民キャンプの方たちがユニクロの服を手にし、笑顔をいっぱいにしていく姿には心を打たれました。今後もこうした活動を継続していくことが、ユニクロにとって大切だと考えています。 CSR担当執行役員 新田幸弘

06 財務ハイライト

当中間期の連結業績は、売上高3,164億円(前年同期比11.3%増)、経常利益534億円(同25.4%増)、中間純利益は286億円(同26.3%増)と、増収増益の結果となりました。

連結売上高の8割を占める国内ユニクロ事業は、既存店ベースの売上高が前年同期比1.5%伸び、直営店が前年同期末比で25店舗増加(2008年2月末の直営店舗数は738店舗、フランチャイズを含めると757店舗)したことにより増収となりました。

また損益面では、値引販売のコントロールを強化したこと

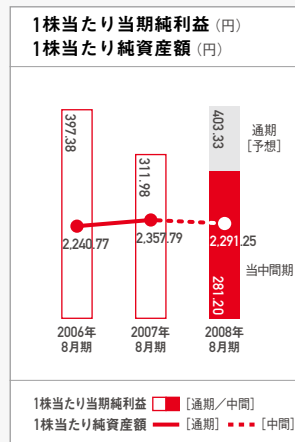
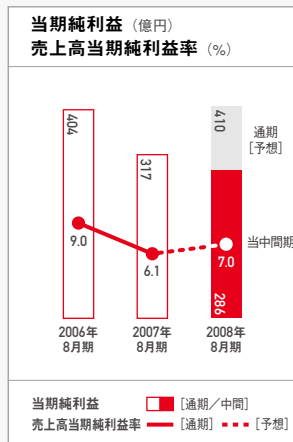
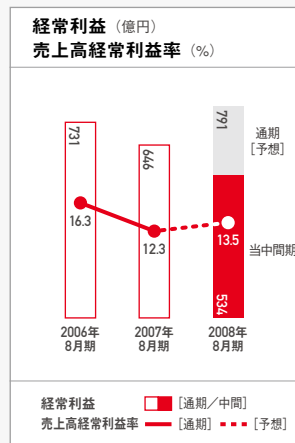
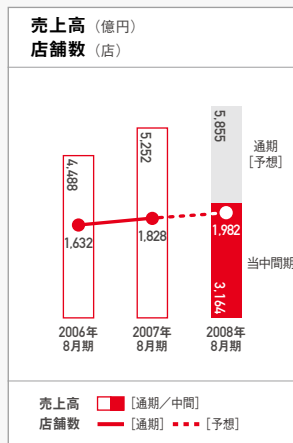
などから売上高総利益率が改善し、売上高販管費比率も改善した結果、増益を達成しました。

海外ユニクロ事業は、アジアでの業績が好調に拡大していること、米国におけるユニクロ事業が上期で黒字となったことなどから、全体として黒字となりました。国内関連事業では、営業損失が継続しておりますが、赤字幅は前年同期と比べて減少しております。グローバルブランド事業の業績は順調に推移しています。

なお、当期の1株あたり中間配当金は65円とし、年間配当金は130円を予定しております。

| 3年間の連結業績推移 | | | |
|-----------------------------|---------------|---------------|----------------|
| | 2006年 8月期 | 2007年 8月期 | 2008年 2月中間期 |
| 売上高(百万円) | 448,819 | 525,203 | 316,401 |
| 経常利益(百万円) | 73,138 | 64,604 | 53,436 |
| 当期純利益(百万円) | 40,437 | 31,775 | 28,640 |
| 資本金(百万円) | 10,273 | 10,273 | 10,273 |
| (期末発行済株式数)(株) ^{※1} | (101,851,747) | (101,851,096) | (101,850,888) |
| 純資産額(百万円) | 240,479 | 243,283 | 235,467 |
| 総資産額(百万円) | 379,655 | 359,770 | 393,956 |
| 自己資本比率(%) | 60.1 | 66.7 | 59.2 |
| 1株当たり純資産額(円) | 2,240.77 | 2,357.79 | 2,291.25 |
| 1株当たり配当額(円) | 130.00 | 130.00 | ※2 |
| (内1株当たり中間配当額) | (65.00) | (70.00) | (65.00) |
| 1株当たり当期純利益(円) | 397.38 | 311.98 | 281.20 |
| 自己資本当期純利益率(%) | 19.7 | 13.6 | 12.1 |
| 総資産当期純利益率(%) | 12.4 | 8.6 | 7.6 |
| 連結配当性向(%) | 32.7 | 41.7 | ※3 32.3 |
| 店舗数(店) | 1,632 | 1,828 | 1,960 |
| 従業員数(人) | 3,990 | 6,534 | 7,470 |

※1 期末発行済株式数は期末自己株式数を控除しております。
 ※2 期末配当金は65円を予定しておりますので、通期では130円となる予定です。
 ※3 期末連結配当性向の予想を記載しております。



07 連結財務諸表

| 連結貸借対照表 | | | |
|--------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|
| 単位:百万円 | | | |
| | 前中間期末 2007年2月28日現在 | 当中間期末 2008年2月29日現在 | 前期末 2007年8月31日現在 |
| 資産の部 | | | |
| 流動資産: | | | |
| 現金及び預金 | 144,341 | 63,977 | 64,091 |
| 受取手形及び売掛金 | 9,669 | 10,920 | 9,849 |
| 有価証券 | 19,717 | 96,657 | 55,237 |
| たな卸資産 | 44,247 | 54,613 | 55,173 |
| その他 | 41,647 | 24,847 | 33,625 |
| 流動資産合計 | 259,622 | 251,016 | 217,978 |
| 固定資産: | | | |
| 有形固定資産 | 33,021 | 39,319 | 37,339 |
| 無形固定資産 | 40,994 | 42,760 | 43,001 |
| 投資その他の資産 | 60,918 | 60,860 | 61,450 |
| 固定資産合計 | 134,934 | 142,940 | 141,792 |
| 資産合計 | 394,556 | 393,956 | 359,770 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債: | | | |
| 支払手形及び買掛金 | 53,957 | 53,976 | 40,568 |
| 未払法人税等 | 17,713 | 22,912 | 14,393 |
| その他 | 36,579 | 57,084 | 35,595 |
| 流動負債合計 | 108,251 | 133,972 | 90,558 |
| 固定負債: | | | |
| 長期借入金 | 19,976 | 18,520 | 19,432 |
| その他 | 6,603 | 5,996 | 6,496 |
| 固定負債合計 | 26,579 | 24,516 | 25,929 |
| 負債合計 | 134,830 | 158,489 | 116,487 |
| 純資産の部 | | | |
| 資本金 | 10,273 | 10,273 | 10,273 |
| 資本剰余金 | 4,999 | 4,999 | 4,999 |
| 利益剰余金 | 226,990 | 251,488 | 228,958 |
| 自己株式 | △ 15,544 | △ 15,548 | △ 15,546 |
| 評価・換算差額等 | 19,884 | △ 17,847 | 11,458 |
| 少数株主持分 | 13,122 | 2,101 | 3,139 |
| 純資産合計 | 259,725 | 235,467 | 243,283 |
| 負債純資産合計 | 394,556 | 393,956 | 359,770 |

【連結財務諸表のポイント】

- 現金・預金及び有価証券の合計額は、前期末比で413億円増加
国内ユニクロ事業の営業キャッシュフローが432億円増加したことなどによるものです。
- たな卸資産は、前期末比で5億円減少
国内ユニクロ事業で前期末比20億円減少、ビューカンパニーを新規に連結したことに伴い、国内関連事業で15億円増加しています。
- 為替予約勘定が、前期末比で437億円の減少
円高の進行に伴い、国内ユニクロ事業の保有する為替予約の時価が変動したものです。ヘッジ会計を適用しているため、損益への影響はありません。

連結損益計算書

単位:百万円

| | 前中間期 自 2006年9月 1日 至 2007年2月28日 | 当中間期 自 2007年9月 1日 至 2008年2月29日 | 前期 自 2006年9月 1日 至 2007年8月31日 |
|-----------------|--------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 売上高 | 284,151 | 316,401 | 525,203 |
| 売上原価 | 152,525 | 159,472 | 276,808 |
| 売上総利益 | 131,626 | 156,928 | 248,395 |
| 販売費及び一般管理費 | 88,472 | 102,654 | 183,431 |
| 営業利益 | 43,154 | 54,274 | 64,963 |
| 営業外収益 | 2,265 | 1,604 | 4,267 |
| 営業外費用 | 2,795 | 2,441 | 4,626 |
| 経常利益 | 42,623 | 53,436 | 64,604 |
| 特別利益 | 1,849 | 334 | 1,903 |
| 特別損失 | 1,761 | 1,724 | 3,794 |
| 税金等調整前中間(当期)純利益 | 42,712 | 52,046 | 62,713 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 18,737 | 23,115 | 31,145 |
| 法人税等調整額 | 799 | 74 | △ 370 |
| 少数株主利益 | 498 | 215 | 163 |
| 中間(当期)純利益 | 22,677 | 28,640 | 31,775 |

- 売上高は3,164億円、前年同期比11.3%の増収
国内ユニクロ事業で189億円、海外ユニクロ事業で72億円、グローバルブランド事業で62億円の増収となったことが主な要因です。
- 販売費及び一般管理費は、前年同期比で141億円の増加
国内ユニクロ事業で65億円、海外ユニクロ事業で31億円、グローバルブランド事業で33億円それぞれ経費が増えています。
- 特別利益は3億円、特別損失は17億円の計上
特別利益は、固定資産売却益などによるものです。特別損失は、キャンペーンにおいて希望退職者を募集したことに伴い計上した構造改革費用7億円、固定資産除却損4億円、減損損失2億円などです。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

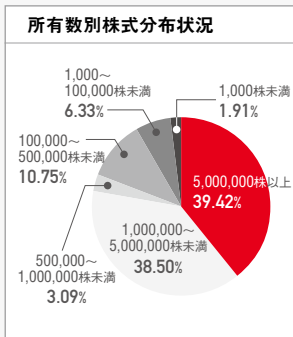
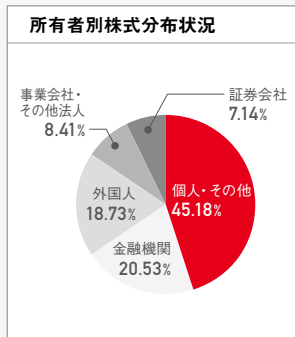
| | 前中間期 自 2006年9月 1日 至 2007年2月28日 | 当中間期 自 2007年9月 1日 至 2008年2月29日 | 前期 自 2006年9月 1日 至 2007年8月31日 |
|-------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 31,591 | 60,206 | 18,847 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 4,818 | △ 5,426 | △ 28,783 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 4,680 | △ 9,289 | △ 12,759 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 128 | △ 4,243 | 153 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 22,220 | 41,247 | △ 22,541 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 141,404 | 119,216 | 141,404 |
| 子会社の新規連結による現金及び現金同等物増加額 | 353 | — | 353 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 163,979 | 160,463 | 119,216 |

- 当中間期末の現金及び現金同等物の残高は、対前年同期末比で35億円減少し、1,604億円となりました。各活動別では、営業活動による収入は前年同期比286億円増加し602億円となり、投資活動により支出した資金は前年同期比6億円増加し54億円となりました。財務活動による資金の支出は前年同期比46億円増加し92億円となりました。

| 会社概要 | | 取締役・監査役 (2008年2月29日現在) | |
|--------|---|---------------------------|-------|
| 商号 | 株式会社ファーストリテイリング FAST RETAILING CO., LTD. | 代表取締役会長 兼社長 | 柳井 正 |
| 本社事務所 | 山口県山口市佐山717番地1 | 取締役 | 松下 正 |
| 東京本部 | 東京都千代田区九段北 1丁目13番12号 北の丸スクエア | 取締役(社外) | 半林 亨 |
| 設立 | 1963年5月1日 | 取締役(社外) | 服部 暢達 |
| 資本金 | 102億7,395万円 | 取締役(社外) | 村山 徹 |
| 事業の内容 | 株式又は持分の所有による グループ全体の事業活動の 支配・管理等 | 常勤監査役 | 田中 明 |
| 連結従業員数 | 7,470名 | 監査役(社外) | 安本 隆晴 |
| | | 監査役(社外) | 清水 紀彦 |
| | | 監査役(社外) | 渡邊 顯 |
| | | 監査役(社外) | 太田 穰 |

| 株式の状況 | |
|---------------------|--------------|
| 会社が発行する株式の総数 | 300,000,000株 |
| 発行済株式の総数(自己名義株式を含む) | 106,073,656株 |
| 株主数(自己名義株式を含む) | 11,357名 |

| 大株主 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|-----------------------|------------|---------|
| 柳井 正 | 28,297,284 | 26.68 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 | 7,371,100 | 6.95 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 6,152,000 | 5.80 |
| 柳井 一海 | 4,781,808 | 4.51 |
| 柳井 康治 | 4,780,600 | 4.51 |
| 有限会社Fight&Step | 4,750,000 | 4.48 |
| 株式会社ファーストリテイリング(自己株式) | 4,222,768 | 3.98 |
| 有限会社MASTERMIND | 3,610,000 | 3.40 |
| ドイツ証券 | 2,649,695 | 2.50 |
| カリヨンディエムオーティシー | 2,421,300 | 2.28 |



| 株主メモ | |
|-----------------------|---|
| 事業年度 | 9月1日～翌年8月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年11月下旬 |
| 同総会議決権行使株主確定日 | 毎年8月末日 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 毎年8月末日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 毎年2月末日 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 市場第一部(証券コード 9983) |
| 株主名簿管理人 | 〒100-8212 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 〒100-8212 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 同取次所 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店 |
| (電話お問い合わせ) 郵便物送付先) | 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711(フリーダイヤル) |
| 公告方法 | 電子公告により、当社ホームページ(http://www.fastretailing.com/jp/ir/index.html)に掲載いたします。なお、事故その他のやむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。また、当社の貸借対照表及び損益計算書は当社ホームページの上記アドレスに掲載しております。 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 単元未満株式の買取請求 及び買増請求 | 単元未満株式の買取請求及び買増請求は、上記株主名簿管理人事務取扱場所及び取次所において受付けております。ただし、株券保管振替制度をご利用されている場合は、お取引の証券会社にお申し出ください。なお、買増請求は8月末日の12営業日前から8月末日まで、2月末日の12営業日前から2月末日までお取扱いができません。また、当社の都合により臨時に買増請求受付停止期間を設けていただくことがありますので、予めご了承ください。 |

IRホームページ紹介

<http://www.fastretailing.com/jp/ir/>



FAST RETAILING

www.fastretailing.com

「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」